

會集の研究

貴園にては日々の會集を如何なる風にしておいでますか。
又會集をなさる御趣旨は何でありますか。

幼稚園に於ける會集は、たゞ因襲的に、習慣的にして居れば兎に角、少しでも其の意義を考へ効果を考へて來ると、可なり多くの色々の問題を惹き起します。そこで先づ、現在諸幼稚園で、どんな風に此の會集をして居られるかをお尋ねして、お互の研究の資料にしたいと思ひました。すなはち、茲に掲載しましたのは前記の問ひに對して、お送り下さった報告であります。編輯縮切りの切迫上、極く少數の幼稚園にお尋ねした丈であり、又期日のない爲お答を頂けなかつた處やありましたが、之れだけを拜見しても、私共にいる／＼のことを考へさせます。御報告下さった各園に厚く御禮申上ります。尙此の問題に關して、御報告なり御意見なりを續々お送り下さるならば、如何に研究上幸福かと思ひます。

○

東京 芝麻布 共立幼稚園

△趣旨

會集は其日の始業にて、終日の保育上に最も關係連續せるものなれば、及ぶ限り注意をばらひ、圓熟なる保育を徹底せしむる組織的要素を與ふるにあり。

△方法

會集室は殊に裝飾其他總てを整頓し、周圍の影響より來る感化に最も注意す。

- (1) 始業の合圖と等しく靜肅なる樂器を奏し、朝來活躍せる兒童の精神を沈着せしめつゝ、全園兒を室に集め、互に麗はしく朝禮の唱歌をなし、次で幼稚園修身歌(國家尊長に對する)を歌はしむ。
- (2) 保育上殊に注意すべき事項、時に當りての出來事は靜止のまゝ園長訓話をなす。
- (3) 季節自然物に對し、世の中の一般を具體的

に知らしめ、談話、圖書、唱歌などにより、其趣味感想を喚起し、相互に美しき共同生活を樂ましむ。場合により簡單なる動作をなし興味を附する事あり。

右凡二十分間にて活氣ある行進曲にて各組自由遊戯に移る。

總て自然本位なれば、一定の方法をとる事不能なれども、許されたる自由の範圍にて、規律秩序を自覺せしめ、融和快樂の裡に、意志の鍛練をなし、諸般の興味を内に完熟せしむる様注意す。

東京 頌 榮 幼稚園

△趣旨

一、各兒に無限なる喜び即ち満足の念を興ふるにあり。

△方法

一、當園會集は毎朝一度必ず幼兒を遊戯室に集め保母と幼時とが始業の挨拶即ち禮を致します。其合圖は風琴の音色を以て致します。
一、禮がすみますと、概して朝の歌、幼稚園修身歌を歌ひ、其他二三種の唱歌を歌ひます。

一、當日の保育事項に連絡を取る爲めに、其事に關する歌を特に歌ふのがあります。
又實物もしくは標本を示して話す事もあります。
一、在園時間中は泣かずに元氣よく満足して遊ぶ事を獎勵致します。
一、時によりて日々の出來事に依り、或は直接間接に聞き得らるゝに依り、其の可否につきて話します。

一、新入園児ある際には、其幼児に對する友愛情につきても此の際に知らしめます。
一、幼児中缺席、幼児の安否等も此時に問ひます。

一、又時としては、最後の時間に於て再び幼児を會集して、談話會、音樂會、等を開きます。
大略各の様に致して居ります。

△方法

私の園は淺草本願寺の一部の家屋を使用して居ります爲めに、宗教の儀式は用ゐませんのですが、家の中に大きな佛壇があります。さうして全體に疊を敷てありますから、其佛壇の前に一同を座らせ宣誓を致します。是を朝の御挨拶又は朝のお勤めと申します。其仕方は、毎朝一番お行儀の良い子供を保母が一名呼び出しますと、其子供は一同の前に出て座り、佛様に向てお辭儀を致しまして、左の言葉を述べるのであります。

東京 徳 風 幼 稚 園

先生や、お父さまや、お母さまの、言ふ事を能く聞いて、偉い人に爲ります。

先生お早う御座います。皆さんお早う御座います。

是は保母に選ばれた子供が指導者と爲りて、大きな聲で『先生や』と申すと、一同は其指導者のいふ通り『先生や』と合唱するのであります。其如く交代に合唱して、朝のお勤めを終るので御座います。續いて我が子良かれの唱歌又は其他の唱歌を續けるか、或は談話を爲すか、幼児の其時の様子に依りて致しますから一定して

は居りません。

△趣旨

會集を爲す趣旨をお尋ねであります、要するに子供の心を落付けるといふ事、僅かな時間でも子供ながら眞面目にゐる事、改まる事、こういふ時に申す事は能く了解の出来るものでありま

す。即ち泣く子は偉くなれぬ、弱い者をいぢめる子供は偉くなれぬ、偉くなる子供は弱い子供を助ける、さびしがる子と遊んであげる等、朝のお勤めの時に合唱する『偉い人に爲ります』が萬事に付けて子供各自の心にしみ込んで居るやうに思はれるのであります。



△趣旨

全園児の統一と親睦を計る事を主として居ります。

東京 女子大學校附屬豊明幼稚園
供に撰擇させて、左の中二、三をいたして居ります。

△方法

會集は全園児共に毎朝大凡三十分位いたし、朝の挨拶、名簿調べ、時には訓示や自然現象、社會の出來事などに付きて、子供の注意を呼び起すやうなこともいたします。其他はなるべく子

- 一、唱歌、談話、の練習
- 一、行進
- 一、遊戯（高飛び、幅とび、猫とねずみ、たき鬼、スキップ、人捕り、子とろふ、椅子取り、汽車遊、探しもの、綱引、バスケットボール等）
- 一、動作遊戯（花咲爺など）



△趣意

會集を致します趣意は、普通活潑なる幼児は一年中殆んど靜肅に致して居るといふことはありません。まして私どもの幼稚園のあります日本橋區などでは、家庭の情況につれ尙更のこと、考へます。それで少しでも心を落ちつけるといふ習慣を幼児時代より附けて置きましたなら、幾分か感化を與へることが出来ませうかと考へまして、試みて居る次第で御座います。

今日までの経験によりますと會集の時に滿場靜肅にして水を打ちたるやうになり、靜かに訓話を聞いて居りました時には、其日必其訓話を守つた成績を見ることが出来ます。

私の幼稚園は只今は小學校内に假りすまひを致して居るのでありますから、遊戯室は狭く、設備も整つて居りませんから、思ふやうに致しま

東京 日本橋區第一幼稚園

すことも出来ませんが、出来たことならば廣い室で周圍に腰掛を置き、幼児に腰をかけるさせて靜肅沈黙を守らせて見たいと思つて居ります。

直立不動の姿勢で沈黙を守らせるといふことは、幼児には随分むづかしいことだと存じますが、なれますと決して難いことではありません。又その爲めに幼児の快活なる特性を傷けるといふことも決してありませんこと、存じて居ります。

歸宅の際にも一同を一室に集めて、其日の出來事につき訓話を致しましてから歸らせて見たいと考へて居りますが、其方法は只今研究中で御座います。

△方法

私の幼稚園では毎朝九時半に合圖の鐘が鳴りま

すと、幼児は皆運動場の一定の場所に整列致します。各受持の保母に引率されて遊戯室に集まり、各組一定の場所に整列致します。當番保母は正面に立ち静肅になるのを待つて樂器の合圖で一同禮をなし、朝の挨拶の唱歌が濟みますと、保母が「サーお静かに」との合圖で幼児は

皆手先を組んで前方に垂れ、姿勢を正しくし口を閉ぢて、三十秒乃至二分間位の沈黙を守ります。其間に於て保母は訓話を致します。訓話が終りますと、幼児は兩手を兩側に垂れ、普通の姿勢になります。唱歌又は遊戯を二つ三つ致します。これで朝の會集が終るのであります。

大阪府女子師範學校附屬幼稚園

△方法

當園では一日に二回の會集(朝會、終會)を致して居ります。

朝會では、定め時刻に全幼兒(三組九十名)を會集場に集めまして、先づ朝の挨拶を致させました後、君が代合唱、主事(保母)訓話、二分間運動、行進と云ふ順序に行つて居りますが時間は十分乃至十五分間であります。

終會は一日の終りに朝會と同じく全幼兒を集め

まして、凡そ三十分間唱歌、並に諸種の遊戯を致させて居ります。

△趣旨

當園で會集を致します趣旨は全般につき申上ますと、園内全幼兒の共同訓練を其主なる目的と致して居るのであります。従て其行事も他の一般の保育の場合とは聊か其趣を異にする點がありまして、前に擧げました諸種の行事に於きましても、幼兒の自發的、相互的作用に因ると

申すよりも、寧ろ一種の團體の力で共同と云ふことの氣分を幼兒相應に味はせたいと云ふ様な考で致して居るのであります。

朝皆が出揃ひました時に、保姆始め全幼兒が一室に會しまして、互に朝の挨拶を致し、又歸る時にも同じく全幼兒が集まりまして、別れの挨拶を致しますことは甚だ必要な態と存じますので、當園では朝會と終會と二回の會集を致すこととして居ります。

君が代の合唱は毎朝致して居りますが、之は合唱の間に君を敬ひ國を愛する心情の基礎を陶冶したいといふ考であります、之が爲めには勿論

第一に先づ保姆が其心情を持つと云ふことが根本でありますから、保姆自身毎朝其心情を持ち得る様、内に此根本に培ふことに努力し合つて居るのであります。保姆の心情の自然發露が幼兒に共鳴しまして、不知不識の間に幼兒が其氣分を味ひ得る様にありたいと念じて居るのであります。

二分間運動、行進、唱歌、遊戯、等は一面には全身運動によつて身體の發達を圖りますと同時に、一面には全幼兒が共同的に楽しく歌ひ愉快に遊ぶ間に共同的の麗しき心情を養ひ立てたいと希望して居るのであります。

大坂 中 大江 幼稚園

△趣旨

せめて一日に一回は成るべく園兒を一堂に集めて顔合せをさせ、保姆も皆打揃ひて此多くのも

のが同じ一つの幼稚園の子供と先生で又お互の友達であるとの心持を新にさせ、同時に多くの集りには、互に辛抱しあつて、猥に自我を發揮

せず、靜に眞面目にお話を聞くとか、一緒に歌をうたふとかして、楽しく陽氣に、然もそれは緊張的の態度でなく唯何となう落付きたる氣分の中に在しめたい。斯くて此機を利用して園としての一般的訓練を施し、各受持保母も此心を心として其日の保育にあたると云ふやうに。

△方法

けれども何分幼兒數が非常に多く、便宜上全體の會集を大略年長の組と年少の組に二分して隔日に行ひ、中一回は必ず全兒を集めて、保母が毎週順番に指揮者の地位にたちて、偶發事項とか、訓話とか、お伽噺などを試みる、而して二分せし方も其受持保母が順番に指揮者となつて話をするとか、時には或一組を出して、遊戯をなさしむるか、其他の事をするか、それは指揮者の任意として、之に伴ふ樂器も指揮者の命のまゝに、他の保母が順番に奏するか、又は指揮者が自ら樂器に向ふこともあつて一定せず。時間は長く

とも三四十分を超えず。但幼兒を會集室に入るには、洋琴の音を始めは強く、次第に弱くして歩調を之に伴はしむ。幼兒が落付きたるとき、主任が前面に立ちて、お立ちなさいと低唱すれば、幼兒一同正しく靜かに起立同時に各保母も成るべく其受持兒の前面と思はるゝ處に進みて幼兒と互に注目す、此時主任が御挨拶をと唱ふれば、幼兒は先生お早う御座いますと至極叮嚀に敬禮す。保母も之に應じてお早う御座いますと至極叮嚀に答禮す。(本園にては特に保母が答禮して前屈低首の場合、幼兒は既に直立の姿勢にかへり居るなり。之れ叮嚀なる保母の答禮振を幼兒が目にして非常に満足するを以てなり。)次に主任が再びする合圖にて。幼兒互に注目皆さんお早う御座いますと叮嚀に敬禮す。(之れも緊張的ならず唯靜に眞面目に落付きたる氣分にて行はしむ。)會集終れば、樂器の合圖にて一同起立敬禮、其儘出る方向に樂音にて室外に引率、

雨天の外は全體の深呼吸體操的簡單なる運動を
なさしめて解散す。幼兒登園後此時庭園の清
潔なるはなく、今迄多人數室内に居りたるもの

なれば、せめて暫時なりとも此清き空氣を呼吸
せしめ、又部分及全體の運動を稍規律的になさ
しむる要ありと思ひてなり。

謹
賀
新
年

フ
レ
ー
ベル
會